

あさご 農業委員会だより

地域環境の未来のために

地域計画を策定しませんか

地域計画とは？

これまで「守ってきた」農地のうち、将来にわたって「守るべき」農地を確実に利用し、次の世代に引き継ぐため、『将来、地域の農地を誰が利用し、守っていくのか』

『地域農業を支える環境をどのように維持・発展していくのか』ということについて、農業者、農地所有者だけでなく、地域に関わる若者や住民等の幅広い関係者を巻き込み、一体となつて地域の課題について話し合い、将来の農地利用の姿を明確化し、その実現を目指す。

計画の策定には期限が定められており

令和7年3月31日

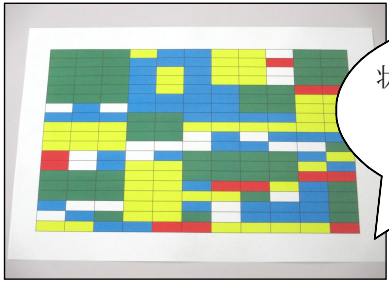
が期限となつていま

よくある質問に
回答します

地域計画って
どんなもの？

地域のみんなで現在の耕作状況を把握したあと、5年後、10年後の農地を
・誰が
・どうやって
管理していくのかを、
地域で話し合つて決めます。決めた後は、その内容を計画書にまとめたり、目標地

状況に合わせて
地図を色分け
しよう！



図にまとめて計画は
完成です。

なぜ必要
なんですか？

高齢や様々な理由で農業が続けられない人が多くなつてくると、今まで管理されていた農地が荒れ放題になつてしまい、そこに住む人々の生活環境も悪くなつてしまいます。

そうなる前に、耕作できない農地が出てきたらどうやって管理していくかを、あらかじめ地域のみんなで決めておくことで、農地の荒廃を防いでいこうとする取り組みです。

農家で話し合えばいいんじゃないですか？

現在、農業をやつていなくても、代々受け継いだ農地を所

発行
朝来市農業委員会
令和6年3月
Tel.079-672-2833
(直通)

有している家もあります。また、農地やその周辺にある水路・農道は、地域の防災・減災に活用されたり、生活道路として利用されていたりします。地域の生活環境を守る一環として、地域の人々で現状を把握し、今後について話し合いをしていくことが大切です。

何から始めれば
いいのかわかり
ません

まずは、わが家が所有する土地について、家族みんなで確認することから始めてみてはどうでしょう。

「うちの農地はここにあつて、今は家族で耕作してるけど、いつまで続けられるか？」

「この農地は今作つてもらっているけど、いつまで引き受けてくれるだろう？」といったことを家族で話し合つて確認しておくのも地域計画の第一歩になると思われま

地域としては、現在の耕作状況（この農地は誰が作っているとか、管理だけし

ているとか）を把握することから始めてみると、話し合いを行う際の基礎資料として活用できます。

地域計画は絶対
に作らないとダメ
ですか？

地域計画は「農業経営基盤強化促進法」という法律に位置づけられた計画なので、策定していただくのが原則ですが、今のところ作らなくても罰則などの規定はありません。

今後の農地の管理についてや、地域の生活環境について、みんなで考えてみるなど情報共有するいい機会となりますので、策定に向けて前向きに検討してください。

人・農地プラン
との違いは何で
すか？

作成していただく計画の内容については大きな違いはありません。違うところ

の一つは、人・農地プランは任意の計画でしたが、地域計画は法律に位置づけられた計画のため、基本的に作成しているだけでなく必要があります。二つ目は、計画と一緒に「目標地図」を作成する必要がありますこと

です。現在の耕作状況を把握し、色分けした現状地図を

作成したうえで、10年後の状況を予想して作る「目標地図」を作成します。

地域計画を作つた時のメリット
やデメリットは？

地域計画を策定すれば補助金がもらえるといった明確なメリットはありません。しかし、地域の耕作状況を把握し公開することで、経営農地を探している新規就農の方や農業を専門に行っている個人や法人の方が、農地の情報を得ることができ、地域で作り手がなくて困っている農地に対して借り手が見つかるチャンスが得られると思います。逆に、地域計画を策定しないことによるデメリットもはつきりとしたものはありませんが、地域の農業活動を支援する補助金等（多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払い付



金など）をもらうための要件のひとつとなる可能性が高いと考えられます。それ以外にも農業用機械に対する補助金やほ場整備を行う際の採択要件のひとつに、すでになつていたり今後なる可能性が高いため、補助金等を将来的にもraitたいと考えているなら地域計画を作つていて損をすることはないので、ぜひ前向きに検討してください。

地域計画を作る
際のサポートは？

地域計画の内容に



現在の進行状況
は？

ついでの話ですが、集落で行つていただく必要がありすが、計画を作るにあつて、まずは概要を説明してほしいなどの要望があれば市役所から説明にお伺いします。

また、地図に色分けしてもらうための白地図を要望に応じて準備したり、農地の基本的な情報や、計画を作るにあつて参考になりそうな情報の提供等を随時行つていきます。分からないこと、気になることなどがあればお気軽に市役所農林振興課や農業委員会事務局までお尋ねください。

令和6年1月現在、朝来市で公開されている地域計画は1件（1集落）となつています。話し合いが進んでおり、完成が見込まれる集落もいくつかあります。令和5年中に集落からの希望があり、最初の概要説明にお伺いした集落等は約90集落ほどになりました。市内で計画策定の対象となりうる地域は118地区ありますので、約7割の地域に説明にお伺いしました。今後も希望があればお伺いしますので、お気軽に

お問い合わせください。説明後も、計画が完成するまでお手伝いしますので、分からないことがあつたり、気になることがあればお尋ねください。



総会での審議件数

審議内容	12月	1月	2月	計
農地法第3条 農地の売買・貸借	4	6	11	21
農地法第4条 農地の自己転用				
農地法第5条 農地の転用売買・貸借		2	3	5
非農地証明申請	2	2	1	5
農業経営基盤強化促進法による農地の貸借	10	9	27	46

農産物直売所紹介

たじまんま和田山

たじまんま出荷者部会
南部支部支部長
梶原 泰輔

たじまんま和田山は、国道312号線立ノ原交差点にあるJAたじま和田山支店の広大な敷地の中にあります。平成30年10月25日に直売所であるたじまんま和田山と、スーパーであるAコープを統合させた「JAファーマーズ・たじまんま和田山」としてオープンしました。

JAたじまの直売所としては、たじまんま豊岡店について

たじまんま和田山に出荷される商品は、その全てに栽培履歴

商品について

2店舗目になります。大きな特色としては、スーパー部分と直売所部分の仕切りが一切ないことです。レジでの清算も同時に行えるため、豊富なスーパー商品と農家直売の新鮮野菜や加工品・工芸品のお買い上げを一度にしたいだけます。

広い通路に明るい店内、商品はHACCP衛生管理に基づいて管理されており、楽しく安心して買い物をしていただけ

野菜の栽培はとても難しい部分もあり、同じ丹波黒の黒大豆であっても枝豆で出荷する場合と乾豆で出荷する場合では栽培方法に違いがあります。厳しい品質管理の結果、生産者の意識も向上し、今ではたじまんまに出荷される生産者は優秀な方ばかりになりました。



写真提供：たじま農業協同組合

ま和田山では出荷者部会を設置しています。栽培・梱包装・食品表示コンプライアンスなど幅広い分野で多くの講習会を開催し、生産者の「栽培技術・意識・安全・衛生・モラル」の向上を図っています。

「生産者」の栽培・管理のJA「販売のA

コープ」という3者が一体となり、プロ農家の野菜はもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんに孫に食べさせたい美味しい野菜のおすそわけというように、多様な商品を、清潔な店舗で提供できるお店と自負しています。

たじまんま和田山の特色



写真提供：たじま農業協同組合

朝来市・養父市の南但地域には直売所がいくつかあります。観光客がメインターゲットの直売所、集荷機能を強化し京阪神の店舗で販売を行う直売所など、それぞれに特色があります。

たじまんま和田山は地域に密着し、毎日のお買い物に利用いただける直売所です。広大な駐車場で出入り口も多く、長い営業時間に加え元旦を除く年中無休営業の実績があります。店舗の周囲には学校、病院があり、駐車場内にはコインランドリーがあります。普段のご利用はもちろん、学校・病院の送り迎えやコインランドリーの待ち時間

出荷者募集中！

たじまんま和田山では商品を出荷いただける生産者を大募集しています。ぜひお気軽にJA各支店・営農生活センターにお尋ねください。申し込みをお待ちしています。

たじまんまは「但馬のまんま（食べ物）」や「そのまんまお届けする」などの意味からネーミングされました。売る楽しみ・買う楽しみ、生産者の交流の場となり、そして何よりも生産者と消費者の素直な架け橋としてたじまんま和田山はこれからも、そしてこれからも一層皆様に安心・安全な商品を気持ちよく、楽しくお買い物をいただけるように頑張っていますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

全国農業新聞

発行所 一般社団法人 全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル
電話 03-6910-1130 FAX 03-3261-5132
ホームページ <http://www.nca.or.jp/shinbun>

購読の申込みは農業委員会事務局へお気軽に連絡ください。

発行 月4回金曜日発行
月700円、年8,400円
(消費税込)

手作りひな祭り

毎年、一室に手作りのひな人形が勢ぞろいします。使用済みの物を何か利用できないものかと考えた末、ひな人形作りを思いつきました。

材料は、使用済みの乾電池（大・中・小）、ビールやジュースの空き缶、貝殻、海苔の空き缶、トイレットペーパーの芯、食品用ラップフィルムを芯等、全て廃材を利用して作ります。それを空き箱、盆、竹等に並べて飾っています。桃の花は折り紙を花の形に切って枯れ枝に貼っています。

特に「みんなで輪、みんなの和、みんな



が笑顔」「二十四の瞳」「宝七福神」「大家族、家庭円満」は気に入っています。みなさんはどんなひな人形を作られるでしょうか。

（農業委員 小田彰子）



編集後記

能登半島地震の被災者の皆さまに心からのお見舞い、お悔やみを申し上げます。一日も早い復旧、復興を願うばかりです。

自分の農地、生活を守っていくにはどのような取り組みが必要か？地域「区長」と農家の皆さままで話し合ういい機会が出来ました。

委員会だよりを参考にしたいいただき、「地域計画」に取り組んでみてください。

朝来市内の農産物直売所では、丹精込めた立派な新鮮野菜がこぞとばかりに並んでいます。生産者の顔が見える農産物ばかりです。農家の所得向上、地産地消で地域を盛り上げましょう。

（大田垣）